

2024年度 文学研究科美術史学専攻 中間発表会

2024.7.11

日時：8月2日（金）11：00～16：50

場所：8階804教室

博士前期課程（発表時間20分、質疑応答10分）

11：00～11：30

「円山応挙《虎図》（出光美術館蔵）の構図と描写について」

11：30～12：00

「絵巻作品を中心に狩野元信の漢から和への画風の変遷を探る」

昼休憩（1時間）

13：00～13：30

「吉田穂高の古代メキシコへの関心—《古代人》（1956年）を中心に—」

13：30～14：00

「呉鎮筆「漁父図巻」（フリーア・ギャラリー蔵）の史的位置」

14：00～14：30

「法隆寺地蔵菩薩立像の性格—僧形神像との服制の比較—」

休憩（10分）

14：40～15：10

「メアリー・カサットの母子像作品と浮世絵版画学習に基づく表現」

15：10～15：40

「エドヴァルド・ムンクによるオスロ大学アウラ講堂壁画
—ノルウェーの自然観とアウラ講堂の空間における壁画の位置づけに関する発表—」

15：40～16：10

「ラウル・デュフィの絵画技法—アンリ・マティスとの比較で—」

休憩（10分）

16:20～16:50

「マチュウ・コプランによる展覧会「閉鎖された展覧会の回顧展」について」

当日は参加自由です。

大学院進学を考えている学生も、是非聞きに来てください。